

《開催期間》

9.12(Sat)~10.25(Sun)

※土・日・祝日のみ 18日間開催

10:00~16:00 (最終入場は15:30)

《会場》

石炭の歴史村公園内

遊園地跡~石炭博物館周辺エリア (夕張市高松)

観覧無料





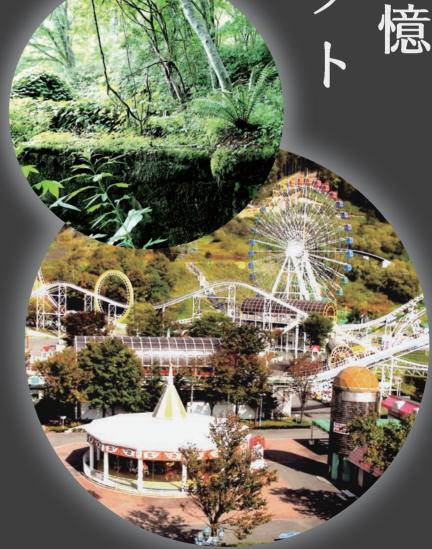
- 堆積した歴史の層を剥ぐ

5 ェクト



●特別協力

夕張市石炭博物館再生プロジェクト実行委員会 札幌市立大学



そらち炭鉱の記憶 アートプロジェクト 2 ● 1 5

最新情報:http://www.sora-coal-art.info

- ◆2015年9月12日(土)~10月25日(日)
- ※土・日・祝日のみ 18日間開催
- ◆10時~16時(最終入場は15:30)
- ◆観覧無料



9 September	10 October
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat
1 2 3 4 5	1 2 3
6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10
13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17
20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24
27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31

公開日:

《出品作家》

- ●上遠野敏
- ●札幌市立大学上遠野研究室 [大学院・学部4年・卒業生]
- ●札幌市立大学美術部 nou me non

「《お問い合わせ》 『

- そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター
- ☎ 0126-24-9901 10:30~17:30(休/月曜・火曜)
- 〒068-0021 北海道岩見沢市1条西4丁目

五千万年にわたる自然の営みの上に、 百年に及ぶ石炭生産の痕跡があり、 わずか三十年で終わった観光開発の結末がある。

夕張市北部にある石炭博物館。

その下には、約5,000万年前(新生代古第三紀)にできた国内有数の優良な石炭層があり、厚さ24尺(約7.2m)にもおよぶ石炭大露頭が地上に姿を現している。その石炭は、ライマンの弟子である坂市太郎によって1888(明治21)年に発見された。以後、1977(昭和52)年に北炭夕張新第二炭鉱が閉山するまで約90年にわたって、夕張炭鉱はわが国を代表する炭鉱として操業し、石炭博物館周辺には石炭生産の中枢的施設が数多く置かれていた。1978(昭和53)年に石炭の歴史村の建設が開始された。炭鉱の記憶は破却され、それに塗り重ねるようにレジャーランドが建設された。しかし、2007(平成19)年に夕張市が財政再建団体に指定されたのを機に、歴史的文脈を無視した開発は頓挫した。かつてあった観覧車やジェットコースターは撤去されたが、多くの娯楽施設の残骸が今も残っている。

ジェットコースターは撤去されたが、多くの娯楽施設の残骸が今も残っている。
5,000万年にわたる自然の営みの上に、100年に及ぶ石炭生産の痕跡があり、わずか30年で終わった観光開発の結末がある。今回のプロジェクトは、このように石炭博物館の間辺に堆積している《沈殿して冷たくなっている》様々なレイヤー(歴史的な層)を、一枚一枚刺ぐことによって、今後を生きる私たちに示唆を与える素材を振り起こすという《活性のための熱い取り組み》を促す契機としたい。